

事業所名	ハートキッズ小川(児童発達支援)	支援プログラム (参考様式)	作成日	令和7年 6月 13日			
法人 (事業所) 理念	学校生活の反復をしながら小集団のサービスを提供します。基礎的な身辺自立や適応力を学びながら、楽しく安全に過ごすことを目指します。						
支援方針	自宅や保育園以外で子どもが安心、安全に過ごせる第三の居場所を作ります。個々の障害特性を踏まえて一人一人にあった目標設定をしチーム支援をおこないます。地域社会で生活していくために必要な人間関係のスキル・マナー・ルールを学ぶ中で”社会性”を意識した集団でのプログラムを提供しながら成長を促していきます。						
営業時間	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康状態の維持・改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的生活スキルの獲得(食事・整容・排泄・着脱等) 毎日の健康管理と手洗いうがい等の予防ケアを実施し、支援員と一緒に身だしなみを整えていきます。 食事や排泄などの基本的な生活リズムを身につけられるように時間での誘導をおこないます。 活動の”始まり”と”終わり”を明確にし、見通しを持って行動に移せるよう絵カード等を利用して声掛けをしていきます。 調理やおやつ作りを通して食事の幅を広げられるよう食育に取り組みます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●姿勢保持と運動・動作の基本的技能の向上、身体の移動能力の向上、感覚の特性への対応等 ダンスや手遊び等の模倣運動や道具を使った運動療育で体の発達を促し体を動かす楽しさを感じられるようなプログラムを提供します。 粗大運動：体操、マット運動、平均台運動、リズム遊び、サークット運動、バランスボールなどで体力や体幹、筋力、バランス能力の向上を促します。 微細運動：折り紙、創作、ぬりえ、調理、ワーク教材などの活動を通して手先の巧緻性の向上や感覚の発達を促します。 感覚過敏性を持つ子どもへ配慮した環境を整え、感覚の特性に合わせた支援を行います。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ホワイトボードや絵カード等の視覚支援ツールを用いて日付や曜日、タイムスケジュールを確認し、見通しを持って切り替えて行動することができるよう支援していきます。 感性形成を促すために創作活動や散歩などで五感を刺激したり、季節の変化を感じられる活動を取り入れていきます。 一人一人の障害特性に配慮し、こだわりの緩和を目指した支援をおこないます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●言語の受容と表出、コミュニケーション手段の選択と活用 必要に応じて絵カードや文字、マカトンサインや身振りなど様々なコミュニケーション手段を活用します。 子どもたちが状況に応じて適切に反応できるよう職員が介入しながら他者とのコミュニケーションの楽しさを経験できるよう支援していきます。 他者とのやり取りをする中で発声や発語を引き出し言葉を体系的に身につけることができるよう支援します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●他者との関わり(人間関係)の形成、遊びを通じた社会性の発達、仲間づくりと集団への参加 職員との関りを通して安心できる環境を作り愛着の形成を図ります。 集団生活の中で順番を待つ、役割分担やルールの理解、他者と協力して活動し他人と関わる楽しさを経験できる活動を提供していきます。 自由時間において、おもちゃで遊んだり、ごっこ遊びをしたり、すくろくやカルタ等のゲームをして異年齢での交流の場を提供していきます。 ルールや役割のある活動に一緒に参加し就学に向けて集団生活の土台作りができるよう支援します。 					
家族支援	送迎時や連絡帳など日々のかかわりの中で、児童の発達状況、支援内容、家庭支援、集団生活、きょうだい児、制度等、家庭内での困りごと等の聞き取りをおこない、家族のニーズに応じた相談援助、必要に応じて面談を設定しています。	移行支援	おこなっていません。				
地域支援・地域連携	必要に応じて利用者が併用している事業所や相談支援員、保育園や医療機関との情報共有をおこない、連携を図っています。	職員の質の向上	事業所内研修(初任時研修、BCP研修、感染症対策研修、虐待防止・身体拘束研修など)、療育・制度・5領域等にかかる読み合わせ等を実施。支援会議、職員ミーティングにおいて発達障害への理解を深め、共通認識のもと支援に臨めるよう取り組んでいます。				
主な行事等	避難訓練(半年に1回、年に2回以上)、お誕生日会、季節の行事(初詣、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など)、水遊び(夏季)、調理(昼食作り、おやつ作り)、お買い物体験、外食体験、外出活動(公園、散歩)						